

青森県原子力センター所報第8号（平成25年度）の訂正について

以下のとおり誤記が確認されたため、訂正します。なお、この訂正により、検討結果に変更はありません。

p.6

【誤】

表2 TMAH アルカリ抽出法による試料中 I-127 濃度測定結果

試料	供試量 (g)	測定結果( $\mu$ g/g) <sup>※</sup>			参考値 ( $\mu$ g/g)
		1回目	2回目	3回目	
NIST1547 peach leaves	1.0	0.31±0.003	0.33±0.004	0.32±0.001	0.3
NIST1573a tomato leaves	1.0	<u>8.7±0.094</u>	<u>8.6±0.059</u>	<u>8.6±0.038</u>	<u>8.5</u>

※誤差は、ICP 質量分析装置による5回の測定値より求めた標準偏差である。

【正】

表2 TMAH アルカリ抽出法による試料中 I-127 濃度測定結果

試料	供試量 (g)	測定結果( $\mu$ g/g) <sup>※</sup>			参考値 ( $\mu$ g/g)
		1回目	2回目	3回目	
NIST1547 peach leaves	1.0	0.31±0.003	0.33±0.004	0.32±0.001	0.3
NIST1573a tomato leaves	1.0	<u>0.87±</u> <u>0.0094</u>	<u>0.86±</u> <u>0.0059</u>	<u>0.86±</u> <u>0.0038</u>	<u>0.85</u>

※誤差は、ICP 質量分析装置による5回の測定値より求めた標準偏差である。

p.49

【誤】

(3) ヨウ素-129

試料を真空凍結乾燥後、燃焼法によって回収したヨウ素からヨウ化銀を調製し、日本原子力研究開発機構青森研究開発センターが保有する加速器質量分析装置（AMS）を用いてヨウ素-129(<sup>129</sup>I)とヨウ素-127(<sup>127</sup>I)の原子数比を測定した。また、~~乾燥試料を次亜塩素酸ナトリウム溶液で分解し、ICP 質量分析法によって安定ヨウ素(<sup>127</sup>I)を定量した。~~これらによって求めた <sup>129</sup>I/<sup>127</sup>I 原子数比と安定ヨウ素濃度から、環境試料中のヨウ素-129濃度を求めた<sup>5)</sup>。

【正】

(3) ヨウ素-129

試料を真空凍結乾燥後、燃焼法によって回収したヨウ素から安定ヨウ素(<sup>127</sup>I)測定用試料を分取した後、ヨウ化銀を調製し、日本原子力研究開発機構青森研究開発センターが保有する加速器質量分析装置（AMS）を用いてヨウ素-129(<sup>129</sup>I)とヨウ素-127(<sup>127</sup>I)の原子数比を測定した。また、ICP 質量分析法によって安定ヨウ素を定量した。これらによって求めた <sup>129</sup>I/<sup>127</sup>I 原子数比と安定ヨウ素濃度から、環境試料中のヨウ素-129濃度を求めた<sup>5)</sup>。